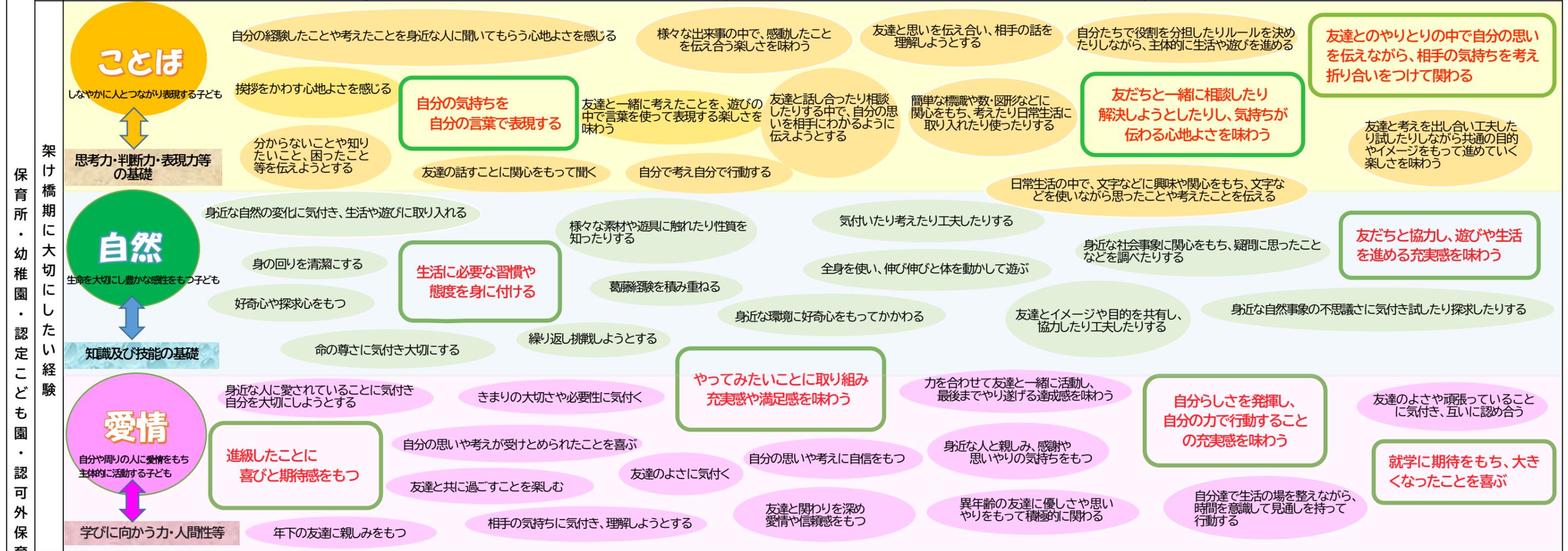


	4月～5月	6月～7月～8月	9月～10月～11月～12月	1月～2月～3月
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> ・気の合う友達と一緒に、色々な遊びを楽しむ中で自分の思いを伝えようとする。 ・春の身近な自然に興味関心をもち触れて遊んだり図鑑で調べたり飼育したりする。 ・戸外で活動することを好み、友達と様々な遊びや運動を楽しむ。 ・進級した喜びと期待をもって何事も意欲的に取り組もうとする姿が見られる一方、新しい環境への不安や緊張感を感じている姿も見られる。 ・自分なりに年下の友達に関わろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達関係が広がり、気の合う友達と遊びを進めようとする気持ちが強くなるが、自分の思いを表出づらい姿もある。 ・自分なりの目的をもち繰り返し取り組もうとする。 ・水の冷たさを感じたり泥や砂の性質を知りながら繰り返し試したり工夫したりしながら遊ぶ。 ・友達の姿や生活の中で経験したことに刺激を受け、身近な用具や素材を使って自分なりに工夫して遊ぼうとする。 ・友達を誘って互いに考えを伝え合いながら一緒に遊ぶ中で、思いの違いによる葛藤やぶつかり合いが見られることもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びの中で文字や数に興味や関心をもって使おうとする。 ・友達と共通の目的をもって遊ぶ中で、役割分担したり互いのイメージを話し合ったりして遊ぶ。 ・力いっぱい体を動かすことを好み、自分なりの目的をもって継続して取り組もうとする気持ちが高まる。 ・秋の自然に触れ、興味をもって調べたり自然物を遊びに取り入れたりする。 ・自分のやりたいイメージに合わせ、経験を活かしながら素材や用具を選び、考えたり試したりして遊ぶ。 ・友達関係が深まり、衝突や葛藤を自分たちで話し合って解決しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文字や数への興味や関心が高まり、絵本などを進んで読もうとしたり友達と文字のやり取りを楽しんだりする。 ・友達と一緒に遊ぶ中で、折り合いがつかないことがあっても、話をして相手の気持ちを理解しようとする。 ・雪や氷等冬の自然事象に関心が強くなり、疑問をもち考えたり試したりして遊ぼうとする。 ・友達と共通の目的をもって意欲的に園生活を送り、一つのことじこじこ取り組むようになる。 ・異年齢児にも、気持ちに寄り添って思いやりをもって関わろうとする。 ・就学への喜びや期待が醸らむ反面、不安を感じる子どももいる。



保育者のかわり	<ul style="list-style-type: none"> ● 伝えたい気持ちを十分に受けとめ、気持ちをじっくり聞いたり共感したりする。 ● 友達に自分の気持ちを伝えたり、相手の話を聞いたりして言葉を交わす喜びが感じられるように個々の状況に応じて支える。 ● 自分たちで考え、やってみようという意欲を引き出すように必要に応じて働きかけをする。 ● 身近な自然の変化や不思議さへの気づきや発見、感動に共感し、他児とも共有できるように繋いでいく。 ● 環境の変化に応じて安定感をもって過ごせるよう、一人一人の思いを受けとめ、気持ちを支える。 ● 進級した喜びに共感し、進んで活動しようとする意欲を受けとめる。 ● 子ども同士の関わりや心の動きを見極め、自分たちなりに解決することができるよう、つなげたり整理したり思いを汲み取ったりする。 ● 子ども同士のつながりを深め、相手の気持ちを感じ取ることができるよう、必要に応じて保育者も遊びの仲間として加わりながら援助する。 	(前期)	(後期)
---------	---	------	------

環境の構成	<ul style="list-style-type: none"> ● 個々の気持ちや経験、興味や関心を伝え合ったり共有したりする場をもつ。【※てびき P65、66】 ● 思いがぶつかる場面では、子ども同士でどのようにしたらよいかを考える場や時間をもつようにする。 ● 身近な自然事象に興味や関心をもち、自分で調べたり気付いたりできるように図鑑や用具等を準備する。また社会生活と関わる中で様々な出来事に関心向けられるよう掲示物等を活用する。【※てびき P63、64、70】 ● 興味関心をもって遊ぶ中で、目的に向かって何度も挑戦できる場や時間を十分にもつ。【※てびき P67、68、69】 ● 子ども達の思いや、やりたいことを聞きながら一緒に遊びの場や生活の場を作り、自分たちで場を整えることができるようにする。【※てびき P52、61】 ● 異年齢児とも自然に関わりがもてるように遊びや生活の中で思いを繋げたり交流の場を設けたりする。【※てびきP62】 	<ul style="list-style-type: none"> ● 互いの遊びを見合ったり考えを伝え合ったりする場を設け、掲示したり整理したりする中で、自分たちの遊びの過程を振り返ることができるようにする。【※てびきP68】 ● 個々の幼児が考えたりイメージを膨らませたりしたことを友達同士で認め合ったり広げたりできるような場を作る。【※てびきP65、66】 ● 自分たちで視覚的に共通理解して遊びを進められるように紙やボード、筆記用具などを用意しておく。【※てびきP66、70】 ● 生活の中で自然物や数、文字、時計等に関わって遊びに取り入れられるような環境を作る。また、色々な素材や用具を整え工夫したり試したり挑戦したりする面白さを感じられるような機会をもつ。【※てびきP66、70】 ● 目的に向かって遊ぶ中で、一人一人の考えが発揮され認め合って自信に繋がっていく場を構成する。 ● 就学への期待がもてるような機会を作ると共に、これまで見守ってくれた方々のことを考える機会をもち、感謝の気持ちももてるようにする。
-------	--	--

